

▼関東

新しく3つの同好会誕生

木村 寿行(EX)

ここ3年あまり、コロナ禍で活動の自粛に追い込まれていましたが、その鬱憤をはらすかのようになり、3つの同好会が誕生しました。

(1)「書の会」

初めての方から経験者まで、幅広く書を楽しむ会です。指導講師の国府谷ひろ子さんは、自身のテレビ朝日で書道同好会を設立、丁寧な指導で書の楽しさを教えてくれます。昔取った杵柄の方、初めての方にも書の魅力を伝えてくれます。

(2)「ケーナを吹こう会」

南米の民族音楽、フォルクローレの名曲「コンドルは飛んでいく」でお馴染みの、アンデスの縦笛ケーナを吹く会です。ケーナは、童謡、演歌、ポップスまで、コツさえつかめば誰にでも演奏ができます。『広い河の岸辺』の訳詞で知られ、関東民放クラブの会員で、プロのケーナ奏者の八木倫明(やぎりん)さんが、ケーナの魅

力を直接教えてくれます。他の音楽クラブとの合同演奏や施設での演奏会も企画しています。

(3)「健康クラブ」

「健康」は、今や老若男女の最大の関心事！健康を取り戻したいが運動が苦手、面倒という方に最適の健康法を、楽しく、無理なく指導いたします。講師は、朝日カルチャーや老人施設指導で実績のある森なおみさん(関東民放クラブ会員)。「骨呼吸体操・骨たたき体操」で骨を強化、骨格のゆがみを直し、健康で若さ溢れる身体を取り戻しましょう。

春の桜ウオッチング

小澤 千津子(SBS)

静岡民放クラブでは、毎年「春の桜ウオッチング」「秋の紅葉ウオッチング」という、季節を感じるバス旅行を楽しんでいます。普段は、なるべく歩く距離を少なくするよう配慮した行程を組んでいます。今年も思い切った少々歩くツアーを計画しました。

当日は桜も満開、花見日和です。花吹雪、花筏もいけれど、

桜はやはり満開に咲き、パッと散るといふ潔さが売り。2年前から駿府城公園のお堀に3艘の「葵舟」が就航し、お堀から桜をながめることができるようになったので、2艘をチャーター。舟はお堀を40分かけて一周します。桜だけではなく、石垣に近づいての船頭さんの説明も興味深く、ゆつたりと楽しんでいると、目の前に、頭がぶつかりそうなほど低い橋が現れ、船頭さんの「土下座！」の号令。半沢直樹よろしく皆で「ははーっ」。

就航している3艘の舟は、松江城の堀で就航していたものを無償でいただいたとの事。さしずめ、家康公への献上でしょうか。

何と私たちが舟で楽しんでいる様子がNHKのニュースに流れたようです！残念ながら私は見ていませんが、まさか映ったのが民放クラブの面々とは、お釈迦様でもNHK会長でもご存知ないでしょう。

桜の他に東御門・巽櫓(ひがしごもん・たつみやぐら)、大河ドラマ『どうする家康』に合わせて開館している「静岡 大河ドラマ

館」、そして静岡市歴史博物館など、盛りだくさんの見どころで満足の一日。地元の良さを再発見！大河ドラマの影響もあり、県外からの観光客も多く訪れています。



静岡第一テレビが

静岡県知事賞受賞

令和4年度の静岡県景観賞最優秀賞に静岡第一テレビの新社屋が選ばれました。

放送局が景観賞を受賞したのは過去にない事だと思えます。

静岡にお越しの折にチャンスがありましたら、是非「森の中の放送局」をご一見下さい。

